

ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド(為替ヘッジあり／為替ヘッジなし)

今後のインカム投資先として注目される金融ハイブリッド証券

2018年1月23日

※当資料は、アライアンス・バーンスタインのコメントをもとに大和投資信託が作成したものです。

お伝えしたいポイント

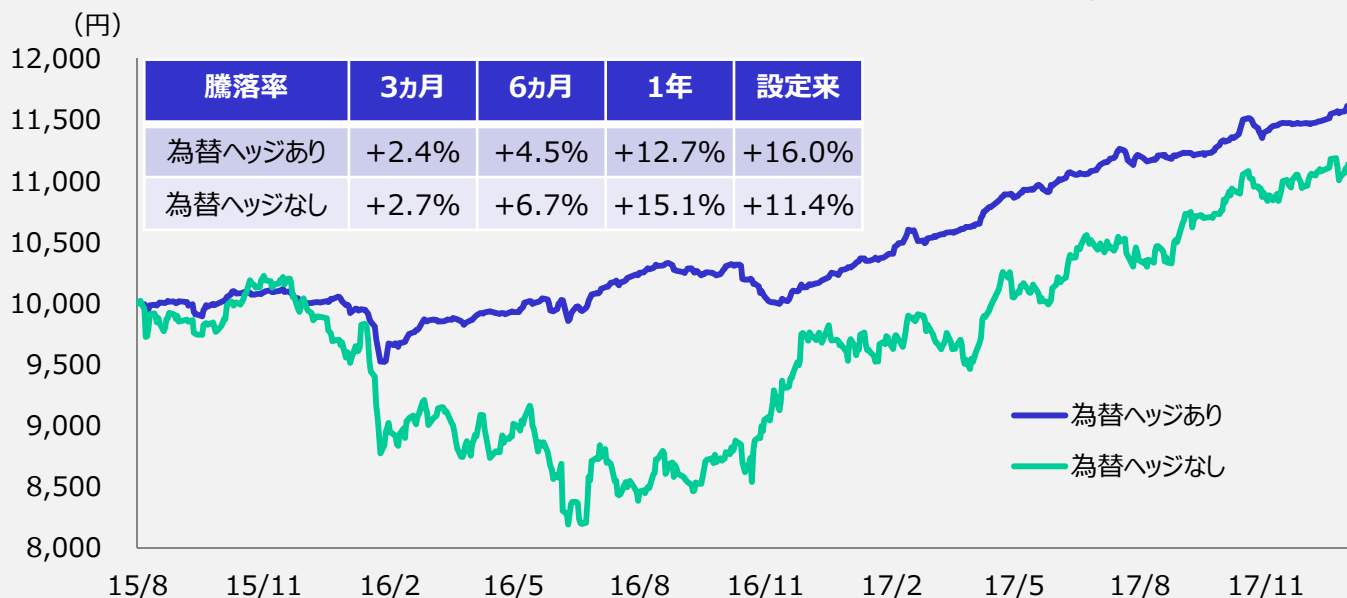
- ▶ 良好な市場環境と市場の変化を捉えた投資判断により、基準価額は堅調に推移
- ▶ 足もとの低金利環境においても、相対的に高い利回りを提供
- ▶ 金利上昇局面でも堅調なリターンが期待され、信用サイクルの観点でも魅力的な投資対象

■ 設定来の運用状況

原油価格の急落による世界的なリスク回避や急速な円高の進展から基準価額が下落する局面がありましたが、その後は世界経済の堅調な回復や金融機関のファンダメンタルズ改善が評価され、設定来では「為替ヘッジあり」が+16.0%、「為替ヘッジなし」が+11.4%と、良好なリターンを確保しています。

基準価額（分配金再投資ベース）の推移

当初設定日（2015年8月19日）～2018年1月19日



過去の分析は将来の成果等を示唆・保証するものではありません。

※分配金再投資基準価額は、分配金（税引前）を分配時にファンドへ再投資したものとみなして計算しています。

※基準価額の計算において、実質的な運用管理費用（信託報酬）は控除しています（後述のファンドの費用をご覧ください）。

※騰落率の各計算期間は、基準日から過去に遡った期間の応当日までとし、当該ファンドの分配金再投資基準価額を用いた騰落率を表しています。

当資料のお取り扱いにおけるご注意

■当資料は、ファンドの状況や関連する情報等をお知らせするために大和投資信託により作成されたものです。■当ファンドのお申込みにあたっては、販売会社よりお渡しする「投資信託説明書（交付目論見書）」の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。■投資信託は、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は大きく変動します。したがって、投資者のみなさまの投資元本が保証されているものではありません。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。■投資信託は、預金や保険契約とは異なり、預金保険機構・保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。証券会社以外でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。■当資料は、信頼できると考えられる情報源から作成していますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。運用実績などの記載内容は過去の実績であり、将来の成果を示唆・保証するものではありません。また、税金、手数料等を考慮していませんので、投資者のみなさまの実質的な投資成果を示すものではありません。■当資料の中で記載されている内容、数値、図表、意見等は資料作成時点のものであり、今後予告なく変更されることがあります。■当資料の中で個別企業名が記載されている場合、それらはあくまでも参考のために掲載したものであり、各企業の推奨を目的とするものではありません。また、ファンドに今後組み入れることを、示唆・保証するものではありません。■分配金は、収益分配方針に基づいて委託会社が決定します。あらかじめ一定の額の分配をお約束するものではありません。分配金が支払われない場合もあります。

販売会社等についてのお問い合わせ⇒ 大和投資信託 フリーダイヤル0120-106212（営業日の9:00～17:00）HP <http://www.daiwa-am.co.jp/>

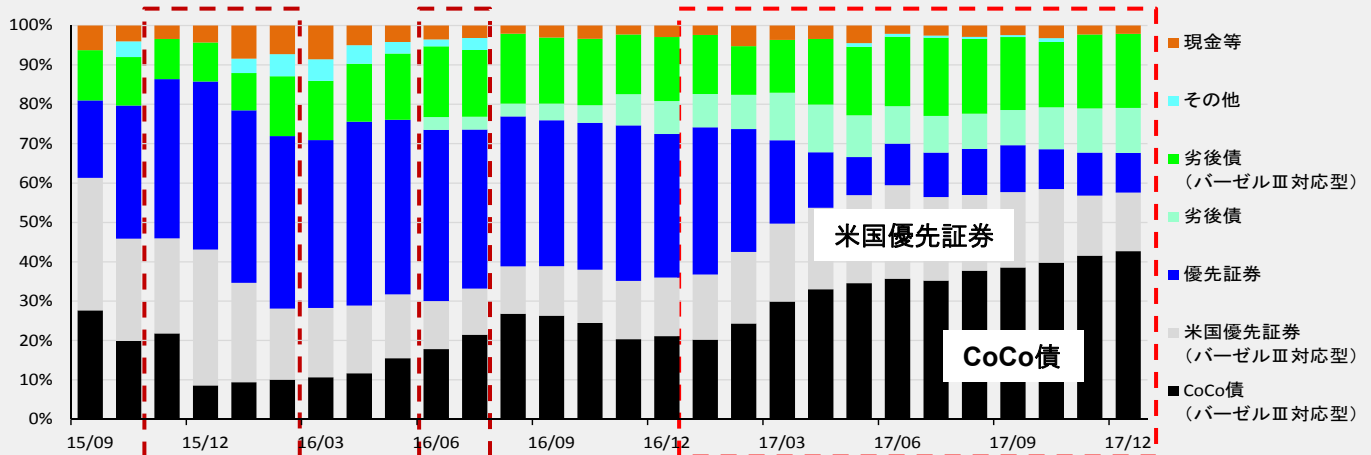
大和投資信託

Daiwa Asset Management

■機動的な運用が奏功

当ファンドの堅調な運用実績には、機動的な運用が大きく寄与しています。設定来、当ファンドでは市場環境に合わせて機動的に組入れ資産を組み替え、良好なリターンを確保してきました。

資産別構成比率の推移*



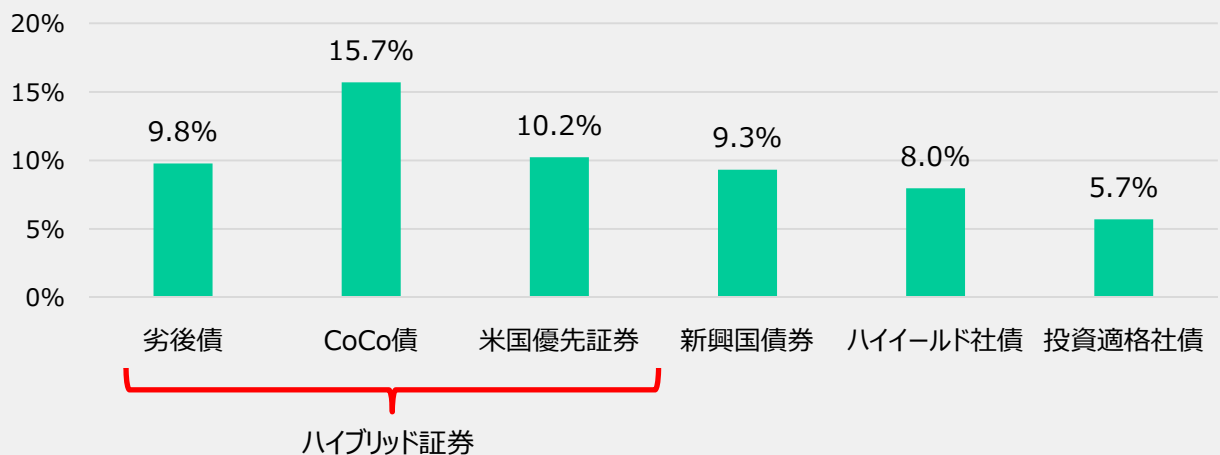
中国の景気後退不安や原油価格の急落により、市場の変動性が高まったため、CoCo債の比率を下げたうえで、相対的に魅力度の高い米国優先証券の組入を増やした。

英国のEU離脱決定によって市場はパニックに陥ったが、魅力的な水準になったCoCo債の組入比率を引き上げた。その結果、7月の回復局面で良好なリターンを上げた。

フランス大統領選などの政治イベントがあらながら、欧米の景気回復が続く中、欧州金融セクターの信用サイクルは「修復」「回復」局面にあると分析、資本性の高いCoCo債を積み増した。

実際に2017年は、ハイブリッド証券のリターンが相対的に高く、なかでもCoCo債のパフォーマンスは他の高利回り債券を大きく上回る結果となっています。

2017年の主要債券のリターン**



※ CoCo債とは、特定の条件下において強制的に投資家が損失を負担する条項（CoCo条項）が付帯されたハイブリッド証券（劣後債、優先証券）をいいます。

過去の分析は将来の成果等を示唆・保証するものではありません。

*期間：2015年9月末～2017年12月末。ABグローバル・ハイブリッド証券マザーファンドの比率です。

**劣後債はブルームバーグ・バークレイズ・グローバル・キャピタル・セキュリティーズ指数 (LT2)、CoCo債はブルームバーグ・バークレイズCoCo債指数。米国優先証券はICE BofAメリルリンチ米国プリファード・バンクキャピタル&キャピタルトラスト・セキュリティーズ指数。新興国債券はJPモルガンEMBIグローバル指数、ハイイールド社債はブルームバーグ・バークレイズ・グローバル・ハイイールド社債指数。投資適格社債はブルームバーグ・バークレイズ・グローバル投資適格社債指数。米ドル・ヘッジベース。

出所：ブルームバーグ、BofAメリルリンチ、アライアンス・バーンスタイン

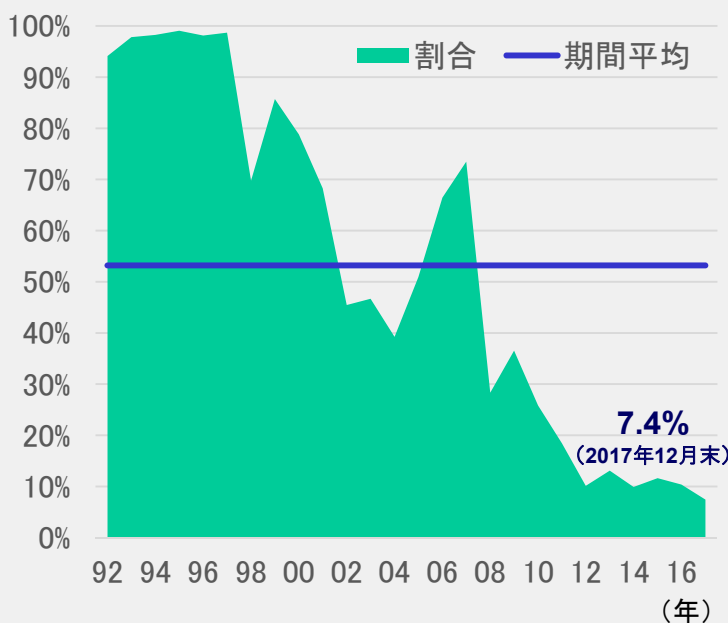
■ 世界的な低金利下において、魅力的な利回りを提供

世界中の投資家による高利回り資産を求める動きが継続しており、多くの資産の利回りは低下傾向にあります。

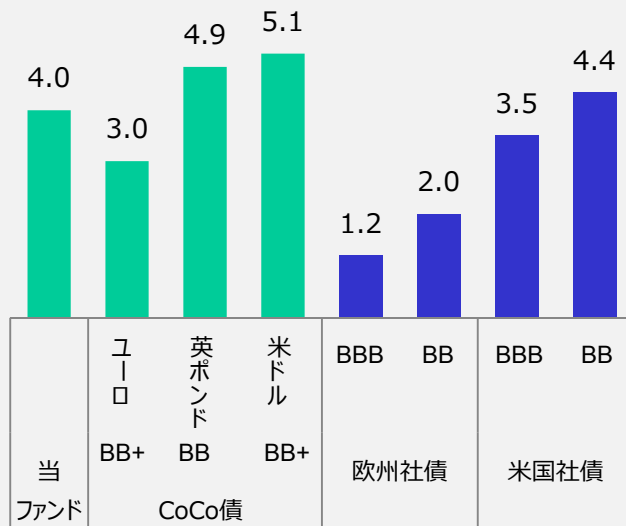
利回り4%以上の債券が市場全体に占める割合は7.4%（2017年12月末）まで低下しており、高利回り資産の希少性が高まっています。

この環境下でもCoCo債は同等格付けのハイイールド社債と比較しても、**相対的に高利回り**となっています。

グローバル債券市場における利回り4%以上の債券の割合*



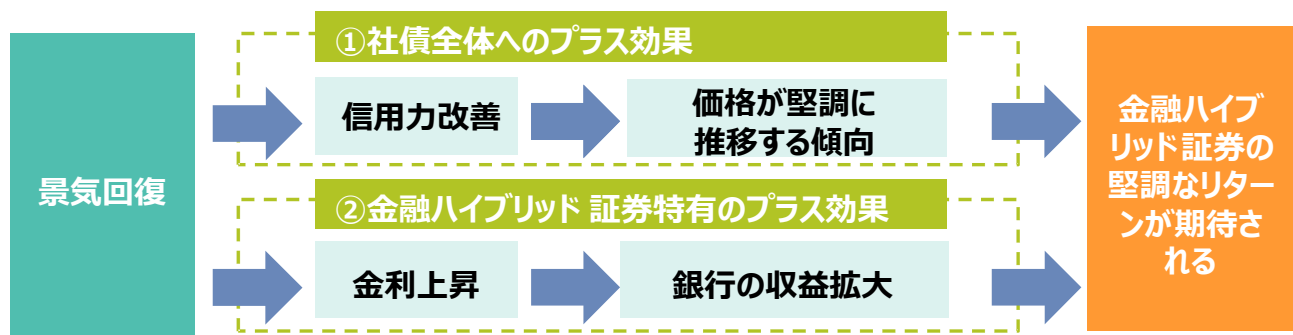
代表的な債券と当ファンドの利回り (%) **



■ 金利上昇局面において堅調なリターンが期待される

今後、米国は更なる利上げが予想され、欧州では金融緩和の縮小が予定されていることから、欧米では緩やかな金利上昇局面に入ることが想定されます。

一般的に金利が上昇すると債券価格は下落しますが、金融ハイブリッド証券は2つの理由から金利上昇局面においても堅調なリターンが期待できると考えています。理由の一つは、社債全体へのプラス効果です。今後想定される金利上昇は、世界的な景気回復が背景にあるため、信用力改善とともに社債価格が堅調に推移する傾向があります。二つ目は、金融ハイブリッド証券特有のプラス効果です。銀行にとって金利上昇は、他の業種と比較しても業績へプラスに寄与すると考えられるため、金融ハイブリッド証券は**金利上昇局面において堅調なリターンが期待**されます。



過去の分析は将来の成果等を示唆・保証するものではありません。

*グローバル債券はブルームバーグ・バークレイズ・マルチバース指数を使用。当該指数の中で利回り(早期償還考慮後利回り)が4%以上の債券の割合。1992年から2017年の12月末における値。

**米国社債:ブルームバーグ・バークレイズ米国投資適格社債指数および同米国ハイイールド社債指数より。欧州社債:ブルームバーグ・バークレイズ汎欧州投資適格社債指数および同欧州ハイイールド社債指数より。CoCo債:ブルームバーグ・バークレイズCoCo債指数。当ファンド:投資対象マザーファンドの現金等を除いたポートフォリオに対するものです。2017年12月末。各債券および当ファンドは異なるリスク特性を有するため、単純な比較ができない場合があります。

出所:ブルームバーグ、アライアンス・バースタイン

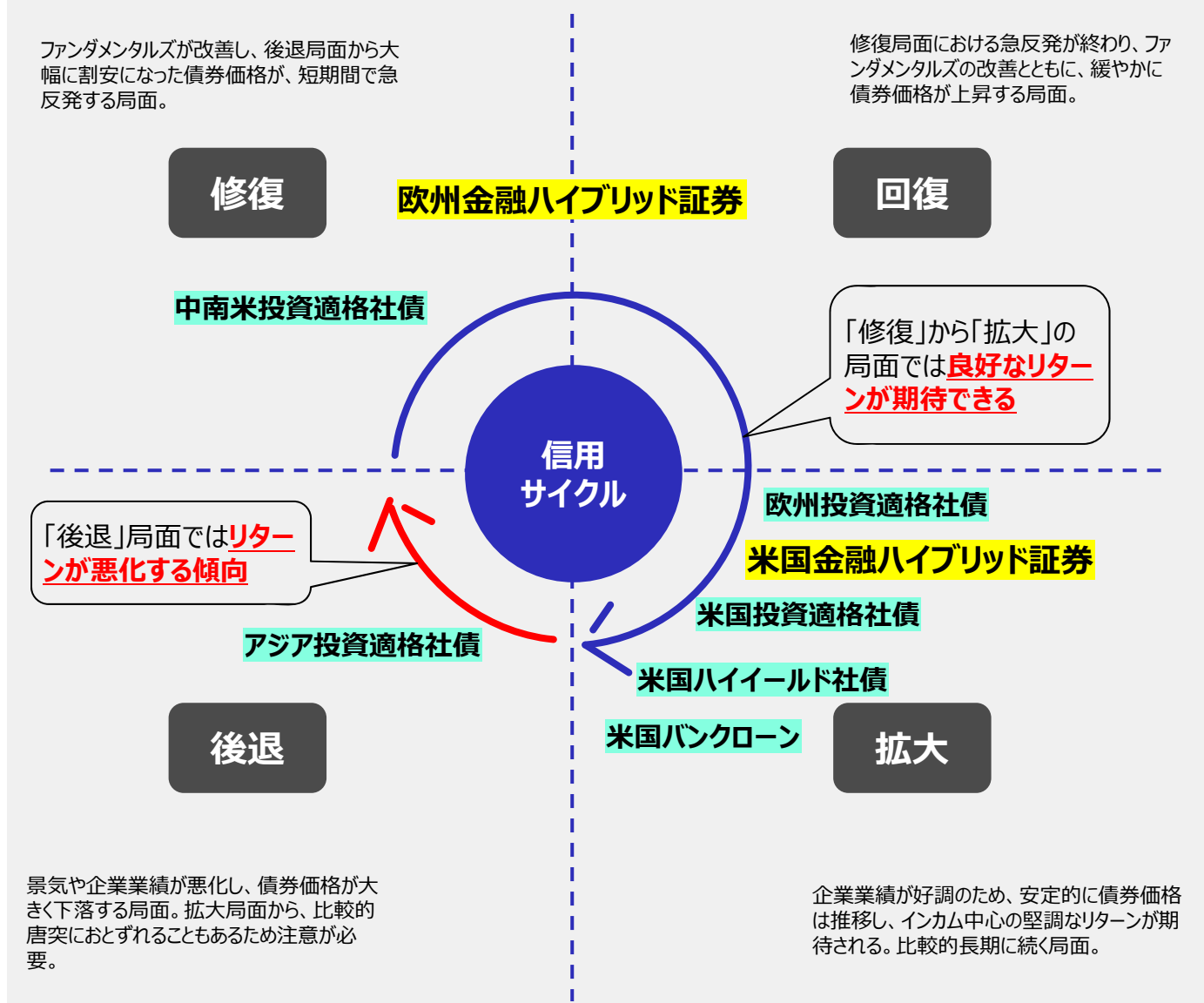
■ 信用サイクルの観点でも魅力的な金融ハイブリッド証券

景気にサイクル（循環）があるのと同様に、社債にも「信用サイクル」という循環があるとされています。信用サイクルは、「修復・回復・拡大・後退」のサイクルが繰り返される傾向があり、その債券がどの局面にいるかで投資魅力度が異なってきます。

一般的に「修復」から「拡大」の局面にかけては良好なリターンが期待されますが、注意すべきはその後の「後退」局面です。「後退」局面入りすると、企業業績の悪化とともに債券価格が大きく下落する傾向があるため、「後退」局面からなるべく遠い債券を選好した方が長期間に渡り良好なリターンを確保できると考えられます。

アライアンス・バーンスタインの分析によると、現在**金融ハイブリッド証券は「修復」「回復」局面または「拡大」局面の初期**にいとみており、他の債券と比べ投資対象として魅力的だと考えています。「拡大」局面の後期にある米国ハイイールド社債やバンクローンと比較して、「後退」局面入りが遅くなるとみています。

信用サイクルの4局面と主な債券の位置づけ*（2017年12月末現在）



過去の分析は将来の成果等を示唆・保証するものではありません。

*アライアンス・バーンスタインが主な債券がどの局面にあるか判断した図です。

出所：アライアンス・バーンスタイン

ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド (為替ヘッジあり／為替ヘッジなし)

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

ファンドの目的・特色

ファンドの目的

- 世界の金融機関が発行するハイブリッド証券に投資し、高利回りの獲得を追求することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざします。

ファンドの特色

1. 世界の金融機関が発行するハイブリッド証券に投資します。

■CoCo 債を含むハイブリッド証券に投資します。

■G-SIFIs に指定された金融機関が発行する銘柄を中心に投資します。

ハイブリッド証券とは

- ◆ハイブリッド証券とは、債券と株式の性質を併せ持つ（ハイブリッド）証券であり、劣後債および優先証券があります。
- ◆一般に国債や普通社債と比較して、信用リスクおよびハイブリッド証券固有のリスクにより、利回りが高いという特徴があります。
- ◆CoCo 債以外のハイブリッド証券においても、規制当局から実質破綻とみなされた場合に、強制的に投資家が損失を負担する条項が付帯されている証券があり、CoCo 債と同様の損失負担リスクがあります。

CoCo 債とは

- ◆発行体である金融機関が規制当局から実質破綻とみなされたり、自己資本比率があらかじめ定められた水準（トリガー）を下回った場合に、強制的に投資家が損失を負担する条項（CoCo 条項）が付帯されているハイブリッド証券です。
- ◆CoCo 条項が発動した場合、①元本の一部または全部がき損する、または、②強制的に発行体の普通株式に転換されるリスクがあります。
- ◆そのため CoCo 債は、相対的に利回りが高い傾向にあります。

2. 運用は、アライアンス・バーンスタインが行ないます。

■ポートフォリオの構築にあたっては、原則として、利回り水準や信用力等を考慮して投資対象銘柄を選定します。

3. 「為替ヘッジあり」と「為替ヘッジなし」の2つのファンドがあります。

「為替ヘッジあり」

●為替変動リスクを低減するため、為替ヘッジを行ないます。

※ただし、為替変動リスクを完全に排除できるものではありません。

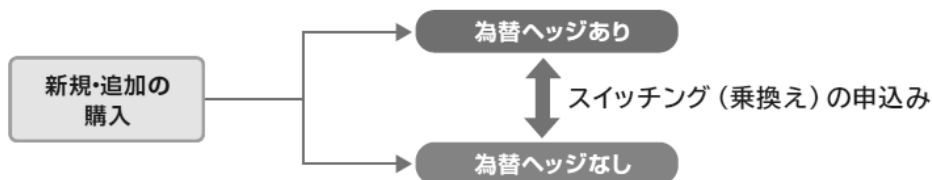
「為替ヘッジなし」

●為替変動リスクを回避するための為替ヘッジは原則として行ないません。

※基準価額は、為替変動の影響を直接受けます。

・スイッチング（乗換え）について

- ◆「為替ヘッジあり」と「為替ヘッジなし」との間でスイッチング（乗換え）を行なうことができます。



- ◆各ファンドの略称としてそれぞれ次を用いることがあります。

ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジあり）：為替ヘッジあり

ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド（為替ヘッジなし）：為替ヘッジなし

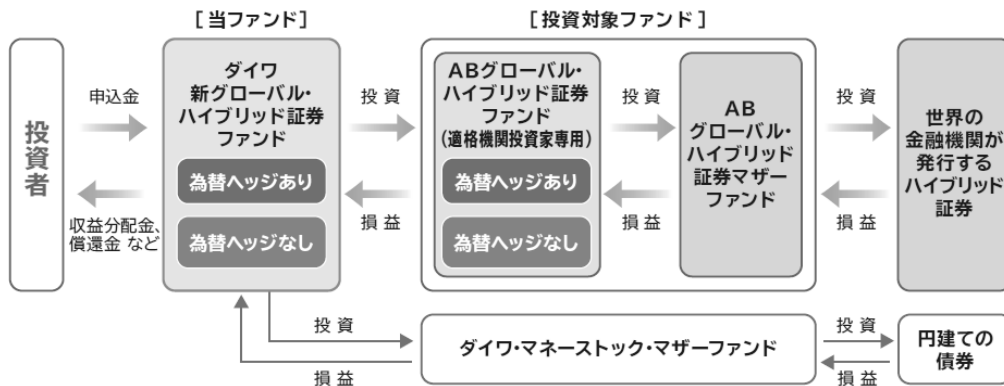
- ◆各ファンドの総称を「ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド」とします。

ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド (為替ヘッジあり／為替ヘッジなし)

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

ファンドの目的・特色

4. 当ファンドは、複数の投資信託証券に投資する「ファンド・オブ・ファンズ」です。
- 投資対象とする投資信託証券への投資を通じて、世界の金融機関（関連会社等を含みます。）が発行するハイブリッド証券に投資します。



※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「ファンドの目的・特色」をご覧ください。

投資リスク

- 当ファンドは、値動きのある有価証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、投資元本が保証されているものではなく、これを割込むことがあります。信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者に帰属します。投資信託は預貯金とは異なります。基準価額の主な変動要因は、以下のとおりです。

「ハイブリッド証券の価格変動（価格変動リスク・信用リスク）」、「ハイブリッド証券固有のリスク（劣後リスク（法的弁済順位が劣後するリスク）・繰上償還延期リスク・利払繰延リスク・損失負担条項に伴うリスク）」、「公社債の価格変動（価格変動リスク・信用リスク）」、「特定の業種への集中投資リスク」、「為替変動リスク」、「カントリー・リスク」、「その他（解約申込みに伴うリスク等）」

※基準価額の変動要因は、上記に限定されるものではありません。

※ハイブリッド証券に関する規制や基準の変更等がハイブリッド証券市場に大きな影響を及ぼす可能性があります。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。

ダイワ新グローバル・ハイブリッド証券ファンド
(為替ヘッジあり／為替ヘッジなし)

お申し込みの際は、必ず「投資信託説明書（交付目論見書）」をご覧ください。

ファンドの費用

投資者が直接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
購入時手数料	販売会社が別に定める率 (上限)3.24%(税抜3.0%) スイッチング(乗換え)による購入時の申込手数料については、販売会社にお問合わせください。	購入時の商品説明または商品情報の提供、投資情報の提供、取引執行等の対価です。
信託財産留保額	ありません。	—
投資者が信託財産で間接的に負担する費用		
	料率等	費用の内容
運用管理費用 (信託報酬)	年率 1.269% (税抜 1.175%)	運用管理費用の総額は、毎日、信託財産の純資産総額に対して左記の率を乗じて得た額とします。
投資対象とする 投資信託証券	年率 0.5724% (税抜 0.53%)	投資対象ファンドにおける運用管理費用等です。
実質的に負担する 運用管理費用	年率 1.8414% (税込) 程度	
その他の費用・ 手数料	(注)	監査報酬、有価証券売買時の売買委託手数料、先物取引・オプション取引等に要する費用、資産を外国で保管する場合の費用等を信託財産でご負担いただきます。

(注)「その他の費用・手数料」については、運用状況等により変動するため、事前に料率、上限額等を示すことができません。

※購入時手数料について、くわしくは販売会社にお問合わせください。

※手数料等の合計額については、保有期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

※くわしくは「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご覧ください。

販売会社:

大和証券
Daiwa Securities

商号等 大和証券株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第108号
加入協会 日本証券業協会
一般社団法人日本投資顧問業協会
一般社団法人金融先物取引業協会
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

設定・運用:

大和投資信託
Daiwa Asset Management

商号等 大和証券投資信託委託株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第352号
加入協会 一般社団法人投資信託協会
一般社団法人日本投資顧問業協会